

## 南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
南区防災・防犯活動支援事業		南区役所 自治推進課			
事業目的	事業内容	活動指標	R5	R6	R7
近年多発する自然災害に備えて、地域における防災力強化に向けた取組を行うことにより、地域防災力向上を図る。また、南区役所と南堺警察が協力し、街頭犯罪発生件数の減少に努める。	①南区自主防災組織連絡協議会 ②防災士養成プログラム ③小学生防災リーダー養成講座 ④戦略的防犯灯 ⑤堺市南区安全・安心なまちづくりに関する協定書に係る表彰制度	①実務者連絡会参加(地区)数	20校区(地区)	20校区(地区)	
		②防災士資格取得者数	38	40	
		②校区(地区)防災訓練参加割合	-	87.50%	
		③校区(地区)の防災訓練に参加したいと回答した割合	67%	73%	
		区における大阪重点犯罪認知件数	189	122	
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ ①で校区自主防災組織間の連携や情報交換を通じて区全体の防災力向上を図る。 ②令和5年度に資格取得した受講者が、地域の自主防災組織に定着できるように支援する。 ③次世代を担う小学生に防災意識を醸成し、防災リーダーの育成を図る。 ④令和5年度に設置した防犯灯の管理を実施。 ⑤顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を顕彰し、安全・安心なまちづくりに関する優れた取組を広く普及する。	◎ 参加者は①は自主防災組織実務者、②は自主防災組織の担い手、③は南区内の小学生であるが、本事業自体は区が主体となって、準備・調整等を行っている。 ④地域と連携して設置場所を選定しているが、区が主体となって設置している。 ⑤4者で連携しているが、区が主体となって実施している。	○ ①自主防災組織間での連携を促すことで、区全体の防災力向上につながる。 ②新たな担い手を創出し、継続的に地域防災力が向上することにつながる。 ③次世代を担うこどもたちへの防災に対する意識を醸成し、次世代を担うリーダーを育成する。 ④明るいまちづくりを推進することで犯罪を抑制する。 ⑤安全・安心なまちづくりに関する優れた取組を広く普及する。	◎ ①②の事業を連携させることで、防災士資格取得者が新たな地域防災の担い手となることを促す。 ③学校や地域と連携することで、地域での防災リーダー育成につながる。 ④地域と連携して暗い場所を選定することで、効率的に設置する。 ⑤4者がそれぞれ異なる媒体を活用して広報を行うことで、事業の取り組みをより多くの人に周知し、広く普及させることができる。		
⑤自立発展性	総合評価				
△ ①②③④⑤地域との連携により推進していく事業であるが、地域が主体となり企画・実施していくことは難しい。	○ ①南区全20校区(地区)が参加し、区全体の防災力向上のための情報交換ができた。 ②受講者の約9割の受講者が資格を取得しており、今後地域の自主防災組織での活躍が期待できる。 ③参加した小学生には好評であった。参加者数の増加と、校区の自主防災訓練への参加にどうつなげていくかが課題となった。 ④設置については地域からも賛同いただいている。今後の維持管理と犯罪発生件数減少への寄与を注視していく必要がある。 ⑤感謝状贈呈規約を制定し、贈呈式を実施した。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	①②③令和5年度から7年度の3年で効果を検証していく。自主防災訓練時に校区を超えた協力などが見られ、校区間の連携が進んでいる。また、②では9割近くの受講者が校区の自主防災訓練に参加しており、地域への定着が見られる。③は学校を通じて直接小学生の目に触れる機会を増やした結果、参加者数が増加した。また、防災訓練に参加したいと答えた小学生の割合も増加し、地域の防災活動へつなげることができた。 ④設置した防犯灯の維持管理については、次年度以降も継続して行う必要がある。 ⑤制定した規約に基づき、次年度以降も継続して贈呈式を行う必要がある。				